

スマートフォンアプリを活用した子育て支援情報発信



市のマスコット「にゃんたろう」を使ったアプリを開発・活用して適切な時期に必要な人へ、【結婚～子育て】に関する情報を発信し、切れ目のない支援体制を確立する。

I. 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を行うための仕組みの構築する。



■みんなで少子化を考える県民フォーラム事業（県事業）

★県事業⇔市事業で連携する。
フォーラムの開催に関する周知の役割を担い、関係団体に積極的に参加を促す。

■結婚に関するセミナー
スキルアップセミナーの開催

→「身だしなみ」
「日常会話力」をテーマ
市内の事業者（美容師、理容師）を講師に招き
セミナー後もフォローアップを行う。

II. 結婚に向けた情報提供

【目的】 結婚に関する意識の啓発を図るため結婚に関するセミナーを市内の事業者と連携し、セミナーを開催する。



III. 妊娠・出産に関する情報提供

①アプリを活用し「妊娠から出産まで」に応じた情報を発信する。
【目的】 アプリでマタニティ教室などの情報を発信し、妊娠中に「母子健康カルテ」を作成し、継続的な支援を行う。
②地元メディアを活用し市の支援制度とアプリ周知用の広告掲載を行う。

■アプリを活用した妊娠から出産までの時期に応じた情報の発信
→開発するアプリを活用し妊娠期の「マタニティ教室」、出産後の「産後安心ヘルプサービス」などを発信する。また出産後健診データや相談内容を「母子健康カルテ」を作製し支援する。

■不妊治療や治療費助成制度や子育てに関する支援制度及び開発したアプリを地元メディアやタウン誌を活用し周知を行う。

■若者、新婚世帯、子育て世帯向けにスマートフォンアプリを開発する。
□若者→スキルアップの情報発信、セミナー案内
□新婚世帯→マタニティ教室、産後安心ヘルプ
□子育て世帯→子育て支援制度
これらをアプリを活用し情報発信する。

■アプリ周知用イベント
育児マンガ家やエッセイストの子育てに関する講演会及びアプリの体験会を行う。

■子育て支援ガイドブック
ガイドブックの内容をアプリからも閲覧可能にする。



IV. 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備

①結婚～育児に関する情報発信用スマートフォンアプリの開発
【目的】 結婚～育児に関する情報を必要な時期に必要な人に情報提供を行う。
②アプリ周知用イベントの実施
③子育て支援ガイドブックの作製